

第5回 鴨川市前原横渚海岸周辺の魅力づくり検討委員会会議録

■開催日時・場所・出席者

日 時:平成 29 年 1 月 18 日(水)午後2時 00 分から3時 45 分まで

場 所:鴨川市郷土資料館・文化財センター学習室

出席者:以下のとおり

【出席委員】

No.	氏 名	備 考
1	鈴木 健史	(一社)鴨川市観光協会 会長
2	清水 宏	鴨川市商工会 観光サービス業部会長
3	藤巻 武仁	(一社)鴨川市観光協会 副会長
4	久根崎 達郎	鴨川温泉旅館業協同組合 専務理事
5	水谷 好伸	鴨川ライフセービングクラブ 会長
6	菅原 明善	(一社)鴨川市青年会議所 鴨川の未来育成委員会委員長
7	立野 健児	鴨川ライオンズクラブ若獅子支部 会長
8	川井 幹雄	鴨川サーフィンクラブ 会長
9	原田 洋美	NPO 法人鴨川ガイド協会 理事
10	渡辺 淳一	城西国際大学観光学部 学部長
11	内山 達也	城西国際大学観光学部 准教授
12	鈴木 淳	学校法人文理開成学園文理開成高等学校 理事長・校長
13	吉田 良治	安房土木事務所 所長

【欠席委員】

No.	氏 名	備 考
1	福田 雄一郎	鴨川市商工会 青年部長
2	徳山 英樹	鴨川市漁業協同組合 総務部長
3	斉藤 哲二	鴨川シーワールド 副総支配人
4	村永 信吾	鴨川市健康づくり推進協議会 会長
5	橋詰 良子	地域おこし協力隊

【市行政関係者】

所 属 ・ 職	氏 名	備 考
鴨川市参事	岩田 知也	事務局
鴨川市観光課長	松井 寛徳	事務局
鴨川市観光課長補佐	小柴 則明	事務局
鴨川市観光課新たな観光づくり係長	鈴木 勝亮	事務局
鴨川市観光課観光係長	廣部 保幸	事務局
鴨川市都市建設課長	野村 敏弘	海辺のまちづくりプロジェクトチーム
鴨川市企画政策課長補佐	大久保 孝雄	海辺のまちづくりプロジェクトチーム
鴨川市スポーツ振興課長補佐	鈴木 圭一郎	海辺のまちづくりプロジェクトチーム
鴨川市環境課美しい鴨川推進係長	佐々木 正信	海辺のまちづくりプロジェクトチーム

【鴨川市C C R C構想等策定支援業務委託事業者】

有限責任監査法人トーマツ

香野剛、富田慎二、松矢明宏、柳橋雅彦、樋口賢治 計5名

■ 配布資料

- ・次第
- ・席次表
- ・グループディスカッション名簿
- ・資料1 本日のアジェンダ・検討資料
- ・資料2 シンポジウム報告書

■ 会議要旨

1. 開会（午後 14 時 00 分）

2. 委員長あいさつ

渡辺委員長より開会のあいさつがなされた。

委員長から、本日の会議の議事録署名人として、久根崎委員及び水谷委員が指名された。

3. 議事

(1) シンポジウム報告について

受託事業者より資料 1 および資料 2 に即して説明。平成 28 年 12 月 17 日に開催された市民シンポジウム、および同 18 日に開催された学生シンポジウム実施の報告がなされた。

(2) 計画案の説明について

受託事業者より資料 1 に即して説明。資料のとおり計画案の概要について確認された。

(3) 協議事項「ゾーニング計画」について

資料 1 に即して前原横渚海岸周辺の遊休地の活用方針とゾーニング方針についてグループディスカッションを実施。委員（A～Cチーム）・プロジェクトチームから出た意見は次のとおり。

● A チーム

- 観光客のエントランスは本当に駅なのか、駅からの雰囲気形成が現実的なのか、魅力体験広場（フィッシャリーナ後背地）をエントランスとするのが現実的ではないか
- 市民会館跡地に鴨川シーワールドのサテライト施設（出張所）を誘致するなど、体験型観光のコンセプトを遊休地活用に盛り込む必要があるのではないか
- 遊休地の活用案として、道の駅的な機能、サイクリングステーション、グランピング施設の整備 等
- プロムナード沿いの活用方針として、飲食店を中心とした出店誘致、自動車侵入禁止のサイクリングロード 等

● B チーム

- 駅から海までのエントランスロードにおいて、わくわくした雰囲気の醸成が重要である。プロムナード沿いからビーチまでに掛かる栈橋や展望台の設置を検討してはどうか。
- 遊休地の活用案として、タオル一枚持参して気軽にサーフィンが楽しめるサーフィンパークを整備するなど、サーフンは国際的に通用するブランド力になりうる
- ハード整備（建造物の建築）だけの計画と捉えられてしまわないように注意が必要である

● C チーム

- 鴨川横渚海岸を象徴するシンボリックなもの、ランドマークを設置する必要がある
- 施設配置を検討する際に、ウエルネスリゾート構想との関連性を明確にする必要がある
- 施設配置は現段階では具体化・確定できないため、当該計画の後工程で詳細化すべきであり、当該計画に載せるべきではないのではないか

● プロジェクトチーム

- 海辺の拠点に求められる機能案として、津波避難タワー、マリンスポーツ・アクティビティの受付窓口が必要と考える
- 駅からのフィッシャリーナ後背地までの導線上に、駐車スペースの確保が必要と考えるが、夏季の繁忙期の入込客数に対応するには立体型の駐車場の整備が必要ではないか

(4) その他（今後のスケジュール）

- 当該計画案について1月23日週よりパブリック・コメントを実施し、市民の意見を広く招請する予定。
- 検討委員に次年度以降のプロジェクト推進に関するアンケートの依頼がなされた。回答期限2月3日。
- 次回検討委員会は2月23日14時より、郷土資料館・文化財センター学習室にて開催予定。

4 閉会

午後3時45分

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、会議録の内容について確認します。

平成29年1月31日

久根崎 達 郎

水 谷 好 伸